

⑧政策宣言

☆戦略的政策編

主として、これまでの市総合計画などに明確な位置づけのない、市政発展のための戦略的政策を提案し、実施します。

政策 1 新市一体感パワーアップ推進事業

【目標】 新市の一体感をパワーアップさせる事業を推進します。

【方法】 市民を主体とする「新市一体感パワーアップ推進委員会」を立ち上げ、祭り・イベントや文化・スポーツ行事などの提言をいただき、順次実施します。

【期限】 1年以内 【財源】 30万円程度（調査・委員会経費）

政策 2 市内全域の情報通信格差の解消

【目標】 市内全域の情報通信格差の解消を目指します。

【方法】 テレビの見えにくい地域やインターネット通信速度の遅い地域、さらには携帯電話の不感地域の実態に即した、早期の改善策を地域ごとに樹立し、着実に推進します。

【期限】 1年以内 【財源】 100万円程度（調査・計画策定経費）

政策 3 人口定住化促進中山間地域モデル事業

【目標】 中山間地域の高齢化、人口減少対策として、若者を中心に人口定住化のモデル事業を導入し、推進します。

【方法】 全国の好適事例を検証し、モデル地域に合った形で進めます。

【期限】 4年以内 【財源】 30万円程度（調査・計画策定経費）

政策 4 散居集落景観を生かした地域振興

【目標】 胆沢扇状地に広がる散居集落は、富山県の砺波平野、島根県の出雲平野とともに、日本三大散居集落と呼ばれています。平成 23 年には、全国散居サミットが当市で開催されます。これを契機に、散居集落景観を生かした地域振興を図ります。

【方法】 散居集落景観を生かした地域振興計画を策定し、住民との協力のもと推進します。

【期限】 2年以内 【財源】 30万円程度（調査・計画策定経費）

政策 5 農業農村振興条例の制定

【目標】 農業農村が栄えなければ、市全体の発展は図れません。その振興発展を着実に進めるため、議会に提案し、条例化します。

【方法】 厳しい農業情勢を踏まえ、農業団体や関係者と十分協議しながら、市の農業振興方針と農村発展策を条例としてまとめ、計画的に強力に推進します。

【期限】 2年以内 【財源】 30万円程度（調査等経費）

政策 6 森林セラピー導入事業

【目標】 奥州市は、約 60%を森林が占め、焼石連峰から種山高原などの名勝の地も広がっています。こうした中、森林の作り出す、人の心身の健康への有用性を活用する森林セラピーの取り組みを導入し、観光振興やコミュニティビジネスの発展につなげます。

【方法】 市民や有識者からなる「森林セラピーを生かした地域振興推進委員会(仮称)」を設けて推進します。

【期限】 3年以内 【財源】 30万円程度(調査・委員会経費)

政策 7 公共建築物への市産木材の活用推進

【目標】 市の公共建築物への市産木材の活用を推進します。

【方法】 林業振興を図るため、実施プランを策定し、毎年度一定財源を確保しつつ、市産木材の活用を推進します。

【期限】 2年以内 【財源】 30万円程度(調査・計画策定経費)

政策 8 中心市街地活性化推進事業

【目標】 水沢区のJR水沢駅西側の中心市街地などを対象エリアとする区域について、抜本的活性化計画を樹立し、その事業により、人の流れを呼び込みます。

【方法】 メイプル西館を中心市街地の拠点施設と位置づけ、「日高火防祭」の常設展示施設を設けるなどの事業を実施します。

【期限】 1年以内に着手 【財源】 7億800万円程度(観光拠点施設等整備事業費概算)

政策 9 「奥州お祭り月間」の設定などお祭り支援事業

【目標】 市内には、多くのお祭りが存在し、若者による新たな祭りの創出の動きも見られます。こうしたお祭りを保存伝承・育成するとともに、観光振興やシティプロモーション(市の効果的宣伝)に連動させます。

【方法】 「奥州お祭り月間」を複数設定し、市をあげての祭りに結びつくなどの、新たな工夫等に対して支援していきます。

【期限】 1年以内 【財源】 300万円程度(支援経費、宣伝経費など)

政策 10 オープンガーデンの街づくりⅡ

【目標】 前回マニフェストにより、「オープンガーデンを各地に広め、花と潤いのある空間を創出し、散策マップを作りながら、市内観光スポットラインとして育てる」ことが、実現しました。これを更に大きく拡大します。

【方法】 立ち上がり経費等に支援するとともに、観光計画とも連動させ、奥州市の魅力の柱に育てます。

【期限】 1年以内 【財源】 100万円程度(22年度奨励補助経費)

政策 11 国際リニアコライダー計画などの立地推進

【目標】 当市を含む北上高地への国際リニアコライダー(大型直線加速器:数十kmの地下トンネルで、電子と陽電子を衝突させ、世界最先端の研究を行なう)立地計画の立地などのプロジェクト

実現を進めます。

〔方法〕 国・県・関係自治体との密接な連携の下、世界最先端の科学技術実験施設であり、学術振興上重要な施設・機能の立地を推進します。

〔期限〕 4年以内 〔財源〕 50万円程度（立地推進経費）

政策12 スマートインターチェンジの設置推進

〔目標〕 水沢インターチェンジと平泉・前沢インターチェンジ間の高速道路本線上に、ETC（ノンストップ自動料金支払いシステム）専用のインターチェンジとして設けられるスマートインターチェンジの設置を推進します。

〔方法〕 国・県はじめ、関係機関と連携を取り、協力を得て、設置を推進します。

〔期限〕 4年以内 〔財源〕 50万円程度（設置推進経費）

政策13 胆沢ダム周辺整備事業

〔目標〕 平成25年に完成する胆沢ダムの周辺を小公園等として整備し、うるおいの景観創出、レジャー・観光振興、地域発展に結び付けて参ります。

〔方法〕 21年度に策定した胆沢ダム周辺整備計画に基づき、着実に推進します。

〔期限〕 2年以内に着手 〔財源〕 2億5100万円程度（全体事業費概算）

政策14 子育て環境ナンバーワン推進条例の制定

〔目標〕 子育て環境ナンバーワン戦略は、定着しつつありますが、これを強化するため、議会に提案し、条例化します。

〔方法〕 新市発足後の重点戦略ですが、その理念、推進基本方針を条例で定め、制定過程の論議の高まりを含めて、強力に進めます。

〔期限〕 2年以内 〔財源〕 特になし

政策15 ブックスタート・読書コミュニティの推進

〔目標〕 奥州市版のブックスタート（赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくり心が触れ合うひとときを持つきっかけづくり）で、赤ちゃんが絵本に出会い、絵本に親しんだ子供たちが、まちの図書館や学校図書館で本を読む習慣を助長し、大人による読み聞かせ環境を整えるなど、読書コミュニティ作りを進め、心が健康な子供たちを育てます。

〔方法〕 奥州市版ブックスタート・読書コミュニティ推進委員会を立ち上げ、年次計画で進めます。

〔期限〕 2年以内 〔財源〕 30万円程度（調査・委員会経費）

政策16 全地域放課後児童クラブ等充実計画の策定と推進

〔目標〕 市内全地域で、小学校の希望する全ての児童が放課後児童クラブ、放課後子ども教室、児童館等に入れるようにするための充実計画を新たに策定し、速やかに実現します。

〔方法〕 計画を策定し、年次計画で推進します。

〔期限〕 計画策定は1年以内、実施完了は4年以内

〔財源〕 新規分100万円程度（1クラブ当たりの運営経費など）

政策 17 結婚支援のための出会いサポートセンターの設置

【目標】 結婚難で悩んでいる本人や家族の願いに応えるため、出会いサポートセンターを設置して、強力に結婚支援策を推進します。

【方法】 結婚支援のための出会いサポートセンターを設置（茨城県の例では2年間で150組成立）するとともに、結婚支援サポーター（ボランティア）を配置し、毎年結婚成立件数目標を立てながら実施します。

【期限】 2年以内 【財源】 300万円程度（事務費、相談員経費及びサポーター活動補助）

政策 18 「WHO 奥州健康都市」づくり

【目標】 世界保健機関（WHO）が進めている取り組みの中で、「WHO 健康都市」づくりがあります。これは、健康づくりについて、人を取り巻く環境づくりの一環として、福祉や環境、教育、文化、まちづくりなど、健康にかかわっている広い分野で総合的に取組もうというものです。その奥州市版を工夫し、推進します。

【方法】 市民や学識者などからなる委員会を設けて、計画を策定し、実施します。

【期限】 2年以内 【財源】 30万円程度（調査・委員会経費）

政策 19 地域医療を守る条例の制定

【目標】 深刻な医師不足などで地域医療の崩壊にも繋がりがねない状況の中、持続可能な地域医療体制を構築します。

【方法】 市と市民、医療機関の三者を中心とした、地域医療を守るための目標や基本施策を条例で定め、強力に推進します。

【期限】 2年以内 【財源】 30万円程度（調査等経費）

政策 20 特別養護老人ホームなど待機者ゼロ計画の策定と推進

【目標】 特別養護老人ホームなどの待機者とその家族の苦労を解消するため、待機者ゼロを目指します。

【方法】 特別養護老人ホームなど待機者ゼロ計画を策定し、推進します。

【期限】 1年以内（計画策定） 【財源】 30万円（調査・計画策定経費）

政策 21 福祉のまちづくり・バリアフリー推進条例の制定

【目標】 福祉のまちづくり、特に、高齢者始め、多くの方々が利用する学校、病院などのバリアフリー化を推進します。

【方法】 基本方針や重点事項などを条例化し、総合的に推進します。

【期限】 3年以内 【財源】 30万円程度（調査等経費）

政策 22 障がい者支援基本条例の制定

【目標】 障がい者福祉パワーアップ戦略の強力かつ効果的な推進を図ります。

【方法】 障がい者の自立と社会参画を大きく前進させるための基本方針や重点事項などを条例化し、総合的に推進します。

【期限】 2年以内 【財源】 30万円程度（調査等経費）

政策 23 地球温暖化防止対策条例の制定

【目標】 市民・企業・市が力を合わせて、二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化防止対策を推進します。

【方法】 基本施策と具体的な行動指針などを条例で定め、市民総ぐるみで強力に推進します。

【期限】 3年以内 【財源】 30万円程度（調査等経費）

政策 24 奥州グリーンニューディール政策の推進

【目標】 地球温暖化防止対策と景気浮揚・雇用拡大対策を結びつける施策を推進します。

【方法】 住宅用太陽光発電装置へのキロワットあたり1万円の補助のほか、クリーンエネルギー設備等事業に関する新規提案募集を行い、採択・支援を行ないます。

【期限】 1年以内 【財源】 総額1000万円程度

政策 25 バイオマスタウン構想推進事業

【目標】 太陽光、風力、木質バイオマス、米のエタノール化、廃食用油活用による自動車燃料化などの環境に優しいエネルギーを取り入れ、地球温暖化防止と地域振興に役立てるため、バイオマスタウン構想を樹立し、推進します。

【方法】 大学、研究機関、民間企業等の方々からなるバイオマスタウン構想推進委員会を立ち上げ、推進します。

【期限】 1年以内 【財源】 30万円程度（調査・委員会経費）

政策 26 生ゴミ水切り促進事業

【目標】 ゴミ減量化を進める上で、生ゴミの水切りを促進することが大切です。低廉な（安い）経費を目指しながら、市民に必要な器具等の整備を支援し、ゴミ減量化とゴミ焼却費の軽減につなげて参ります。

【方法】 間伐材や鋳物を活用した器具による水切り方式やダンボールコンポスト（ダンボール箱を活用した減量・堆肥化）による方式を取り入れ、モデル地区から次第に拡大する形で取組みます。

【期限】 2年以内 【財源】 1地区10万円程度

政策 27 文化芸術振興条例の制定

【目標】 若手を育成しながら、新しい文化芸術の創造を支援し、伝統の継承とあいまって、文化の香り高い、潤いのある、風格のある都市づくりを目指します。

【方法】 文化芸術振興の基本指針などを条例で定め、総合的に推進します。

【期限】 3年以内 【財源】 30万円程度（調査等経費）

政策 28 多文化共生社会創造条例の制定

【目標】 国際交流社会が進展する中、500人にも上る市内の定住外国人への適切な支援、その持てる力を生かした地域振興を図り、多文化共生社会を創造します。

【方法】 基本理念や取り組みの方策を条例で定め、総合的に推進します。

【期限】 2年以内 【財源】 30万円程度（調査等経費）